

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1303））

2. 日 時：平成30年10月2日 10時00分～12時10分

15時15分～17時45分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全管理調査官、江寄企画調査官、吉村上席安全審査官、植木主任安全審査官、
千明主任安全審査官、岸野主任安全審査官、日南川安全審査官、三浦安全審査官、
服部安全審査専門職、竹内技術参与、山浦技術参与

（技術基盤グループ 地震・津波研究部門）

山崎主任技術研究調査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：開発計画室 室長代理 他8名

東北電力株式会社：土木建築部（原子力建築） 主任

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 建築耐震グループ 担当 他1名

中部電力株式会社：原子力土建部 設計管理グループ 主任

北陸電力株式会社：原子力本部原子力部 原子力耐震技術チーム 担当

中国電力株式会社：電源事業本部（耐震建築） 担当

電源開発株式会社：原子力技術部 原子力建築室 担当

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る耐震性に関する説明書及び津波への配慮に関する説明書について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価】

<建物・構築物>

○ 原子炉格納容器底部コンクリートマットの耐震性についての計算書において、コンクリートマットのせん断補強がない範囲と円筒遮蔽壁との位置関係をモデル図上に追記すること。

○ 各地震応答計算書のうちスウェイ・ロッキングモデルを用いている施設について、接地率を踏まえた評価内容を提示すること。一方、FEMモデルを用いている施設について、接地率の値を提示すること。また、計算書に接地率を記載することの意味・解釈を踏まえた方針書の記載について、検討し提示すること。

【屋外重要土木構造物、津波防護施設】

○ 地盤の支持性能に係る基本方針について、液状化強度特性の代表性・網羅性の根拠として追加の液状化強度試験の位置付けを明記するとともに試験の実施位置を図等に示すこと。

- 鋼製防護壁の下部構造について、2次元同時入力用語の内容が理解できるように適正化するとともに、水平2方向入力の検討を実施しない理由について記載すること。
- 鋼製防護壁のスタッドの材質を記載し、設置範囲を図中に示すこと。
- 各計算書の概要において、津波荷重に関する記載を具体的に明示すること。
- 立坑構造物の耐震計算書の評価方針として地盤のばらつきに関する記載を追加すること。

(3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-11【原子炉建屋の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ V-2-1-3 地盤の支持性能に係る基本方針
- ・ 中央制御室遮蔽に関するコメント回答
- ・ 屋根トラス 柱の要素分割数及びモデル化要素による影響検討
- ・ 使用済燃料プール壁における面内せん断力及び面外せん断力の許容値について
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-3【応力解析における断面の評価部位の選定】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-13【使用済燃料乾式貯蔵建屋の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-7【建物・構築物の耐震評価における組合せ係数法の適用】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-8【使用済燃料プールの耐震性評価に関する補足説明】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-9【原子炉格納容器底部コンクリートマットの耐震性評価についての補足説明】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-12【原子炉建屋基礎盤の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ V-2-10-2-2-1 防潮堤（鋼製防護壁）の耐震性についての計算書
- ・ V-3-別添3-2-1-1 防潮堤（鋼製防護壁）の強度計算書
- ・ V-2-2-23-4 常設代替高圧電源装置用カルバート（立坑部）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-2-33 SA用海水ピットの耐震性についての計算書
- ・ V-2-2-35 緊急用海水ポンプピットの耐震性についての計算書
- ・ 建物・構築物の地震応答解析についての補足説明資料 補足-400-1【地震応答解析における既工認と今回工認の解析モデル及び手法の比較】
- ・ 耐震壁のせん断のスケルトンカーブ設定時のシアスパン比（ M/QD ）に対する検討
- ・ 原子炉建屋基礎ピット周辺の構造について
- ・ タービンペデスタルと建屋躯体の相対変位について
- ・ V-2-12 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- ・ 東海第二発電所 耐震性に関する説明書に係る補足説明資料 水平2方向及び鉛直方向地震力の適切な組合せに関する検討について

- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-1【応力解析における既工認と今回工認の解析モデル及び手法の比較】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-2【応力解析におけるモデル化、境界条件及び拘束条件の考え方】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-4【地震荷重の入力方法】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-6【応力解析における応力平均化の考え方】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-14【タービン建屋の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-15【サービス建屋の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ 建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-17【格納容器圧力逃がし装置格納槽の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ 建物・構築物の地震応答解析についての補足説明資料 補足-370-18【緊急時対策所建屋の耐震性評価に関する補足説明】
- ・ 建物・構築物の地震応答解析についての補足説明資料 補足400-4【隣接建屋の影響に関する検討】